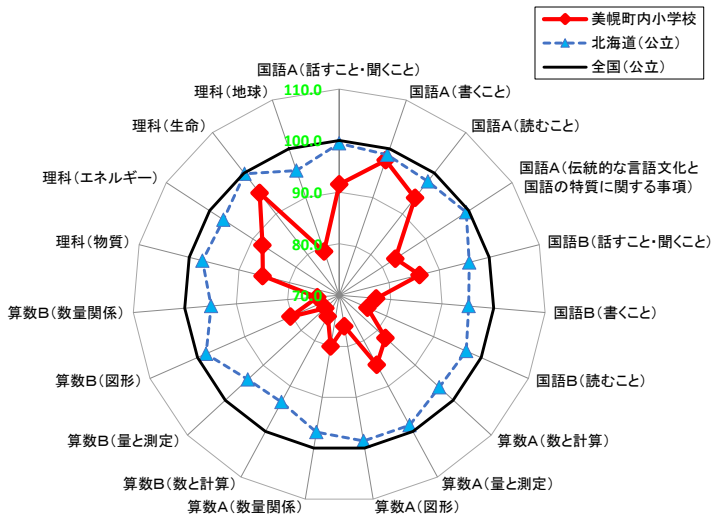


■美幌町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、児童数:154人)

【教科全体の状況】

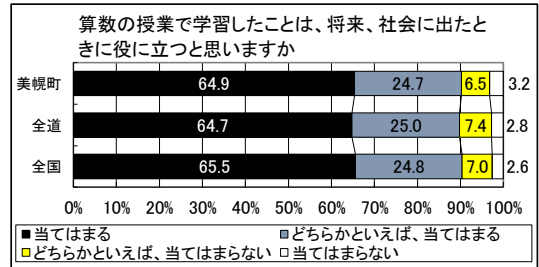
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



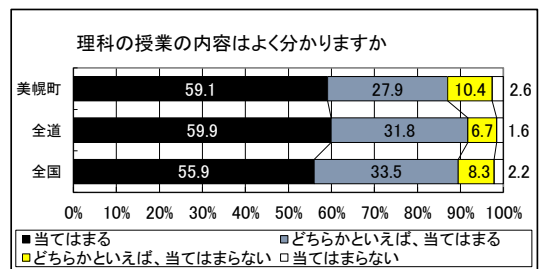
【各教科の平均正答率】

国語A	国語B	算数A	算数B	理科
61.6	45.7	51.9	38.3	53.1

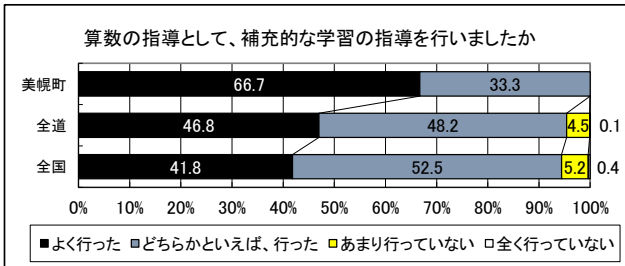
【児童質問紙調査】



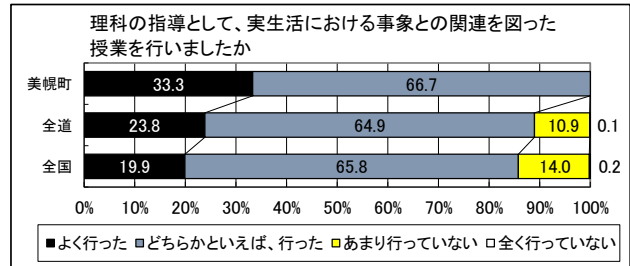
【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	分析内容
国語A	○ 国語Aでは、「書くこと」で全国に最も近くなっている。
理科	○ 理科では、「生命」で全国に最も近くなっている。
児童質問紙	○ 「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した児童の割合が、全道を上回っている。 ○ 「理科の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。
学校質問紙	○ 「算数の指導として、補充的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「理科の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。
児童質問紙	○ 算数の指導として、補充的な学習の指導を行ったことにより、「算数の授業で学習したことは将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した児童の割合が全道を上回ったと考えられる。 ○ 理科の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、「理科の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

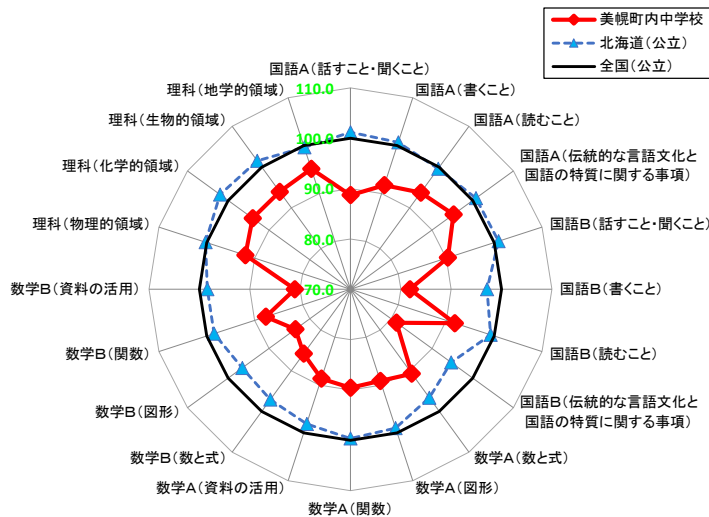
【美幌町の学力向上策】

- ◎ 基礎的・基本的な学習内容の定着に向けた、チーム・ティーチングや習熟度別少人数指導の実施
- ◎ 大学生ボランティアを活用した学習サポートの実施
- ◎ 退職教員等による「放課後学習サポート」及び「親子国語教室」の実施
- ◎ 「家庭学習の手引」「生活リズムチェックシート」の活用による、家庭と連携した学習習慣の確立
- ◎ 町費採用の小学校教育支援員によるきめ細かな指導の充実

■美幌町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:159人)

【教科全体の状況】

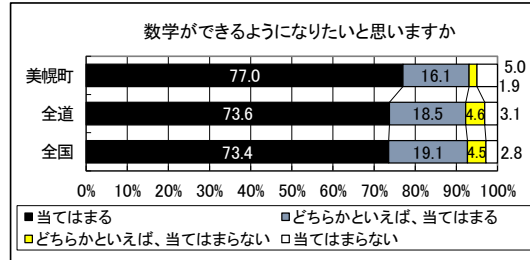
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



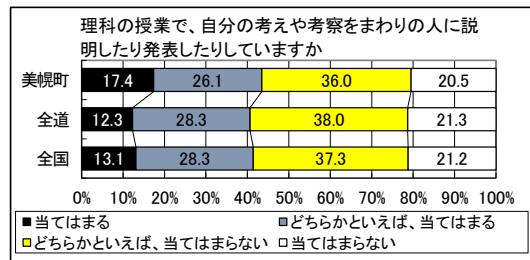
【各教科の平均正答率】

国語A	国語B	数学A	数学B	理科
71.5	55.8	59.3	39.7	61.9

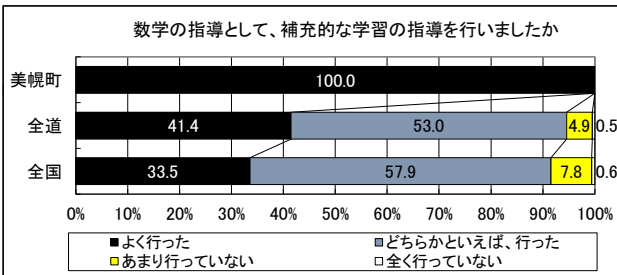
【生徒質問紙調査】



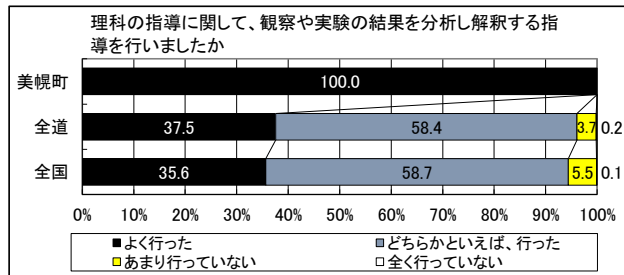
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	分析内容
国語	○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「地学的領域」で全国に最も近くなっている。
生徒質問紙	○ 「数学ができるようになりたい」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。
学校質問紙	○ 全ての学校が、「数学の指導として、補充的な学習の指導を行った」と回答している。 ○ 全ての学校が、「理科の指導に関して、観察や実験の結果を分析し解釈する指導を行った」と回答している。

【美幌町の学力向上策】

- ◎ 基礎的・基本的な学習内容の定着に向けた、チーム・ティーチングや習熟度別少数指導の実施
- ◎ 大学生ボランティアを活用した学習サポートの実施
- ◎ 退職教員等による「放課後学習サポート」の実施
- ◎ 「家庭学習の手引」「生活リズムチェックシート」の活用による、家庭と連携した学習習慣の確立